

平成30年9月12日

『熊本県歯科医師会 病診連携特別講演会』開催のお知らせ

平素より本会会務運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、回復期病診連携推進事業は熊本県からの委託事業となっており、平成26年4月の運営開始から5年目を迎えました。

そこで、5年目の節目として医師・歯科医師を始め多くの医療に従事されている方々を対象に、全国にも知られている足利赤十字病院のチーム医療体制を紹介する講演会を企画いたしました。

つきましては、下記のとおり「熊本県歯科医師会 病診連携特別講演会」を開催いたしますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 平成30年11月10日(土) 午後4時～6時30分

場所 熊本市医師会館 2階講堂(熊本市中央区本荘 3-3-3)

講演1 『足利赤十字病院における医科／歯科連携について』



足利赤十字病院
院長 小松本 悟

足利赤十字病院は、栃木県南部に位置し、三次救命救急センターを有した医療圏(80万人)の唯一の地域中核病院である。病床数は555床、全室個室化した次世代型グリーンホスピタルである。

病院におけるリハビリテーション(リハ)科と歯科チームの介入モデルの報告は少ない。そこで、2010年10月より入院患者の口腔管理や摂食嚥下リハに関わる目的にてリハ科内に歯科部門を設置し、リハ科と歯科チームによる口腔管理ならびに摂食嚥下リハが行われるようになった。

リハ科と歯科チームによる医科／歯科連携は、脳卒中患者の誤嚥性肺炎の発症率を減少させ、入院患者のADL、QOL改善に寄与している可能性があった。また、がん周術期患者、化学療法患者、緩和ケア患者についても口腔管理の重要性を確認した。さらに医科／歯科連携は、医療経営面からみても有益であった。

講演2 『医科歯科連携の実際 ～病院歯科、リハビリテーション科の視点から～』



足利赤十字病院
リハビリテーション科
歯科医師 尾崎 研一郎

足利赤十字病院のリハ科には医師2名、歯科医師3名、理学療法士32名、作業療法士17名、言語聴覚士12名、歯科衛生士2名が所属している。歯科部門の特徴は、主に入院患者に特化して診察していることが挙げられる。外来患者は摂食嚥下障害やがん化学療法等により歯科診療所では対応困難な症例にのみ関わっている。さらに口腔外科とは別のシステムで稼働していることも特徴の1つである。歯科部門を開設した2010年10月から2012年3月まではリハ介入患者に対応して院内での歯科受診システムの基礎を構築した。入院患者に対して歯科が日常的に関わっており、歯科がケア的な視点から関わっていることに対して病院スタッフの理解を得ている。このような現場が全国の病院や施設であるように期待したい。本歯科モデルは病院の付加価値になると確信している。現に国際的な医療機能評価においても一定の評価を得た。小松本 悟院長と演者の講演を通じて「医科歯科連携の実力」と「歯科の可能性」を知って頂けると幸いである。

主催： 熊本県歯科医師会 熊本県

F A X 申 込 書

申込締切 10月31日(水)

熊本県歯科医師会 (FAX 096-343-0623) 行

「H30.11.10 熊本県歯科医師会 病診連携特別講演会」

所 属 名	
電 話 番 号	() -
F A X 番 号	() -
職 名	氏 名

※ 駐車場は台数に限りがありますので、公共の交通機関をご利用ください。

熊本市医師会館
熊本市中央区本荘 3-3-3
TEL : 096-362-1221



《問い合わせ先》
熊本県歯科医師会事務局 担当：塩山
TEL : 096-343-8020
FAX : 096-343-0623